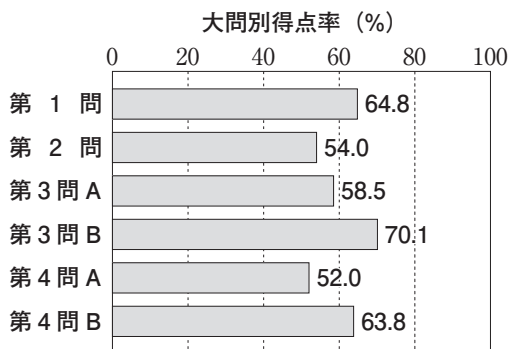
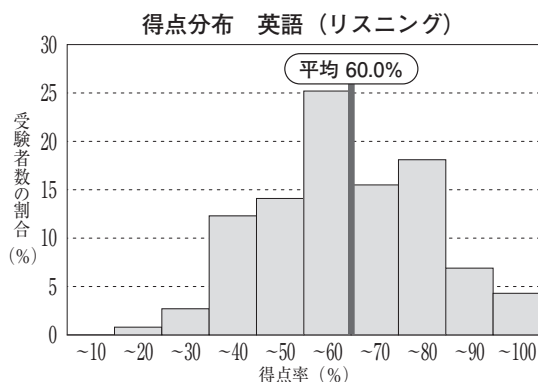


英語 (リスニング)

多種多様な英文を聞きながら、聴解力を高めよう。

I. 全体講評

今回のリスニング問題の平均得点は30.0点であった。大問別に見ると、最高が第3問Bの70.1%、最低が第4問Aの52.0%であった。他はいずれも50%台から60%台で、大崩れした箇所がなく、全体的にバランスよく得点できていた点が評価できる。また、小問別正答率では、第4問Aに30%弱にとどまったものが1つあったものの、総じて安定していた。リスニング問題では、素材本文として会話・対話文を中心としながらも、説明的な文も一定の割合で採用されている。この点を考慮しながら、日頃のトレーニングではさまざまなタイプの英文の聞き取りを心がけ、さらなる地力アップを目指してほしい。



II. 大問別分析

第1問 対話の聞き取り(数値・語句・イラスト選択)

これまで以上に安定した成績だった！

第1問の得点率は64.8%で、かなりよくできていた。毎回数値やイラストを含む問題に悩まされる人が多いが、今回は正答率60%台を中心に全体的に安定した成績だった。50%を割った小問が1つだけあったが、やはり金額に関する数値問題である。端数を含む金額だったので、とらえにくい面があったのだろう。それでも、以前の状態と比べれば、徐々に聴解力のレベルが上がってきたことを端的に示した結果と言えるのではないだろうか。回数を問う数値問題もあったが、こちらは答えやすかったようだ。一方、イラスト問題はどちらも好結果であった。ぜひとも、この調子を維持してほしい。

第2問 対話の聞き取り(応答文選択)

冒頭から集中して聞こう！

今回の第2問の得点率は54.0%だった。小問別の正答率では30%台から70%台までの範囲にわたっていた。30%台の正答率に終わった小問は2つあった。その1つは問9で、正解者よりも④を選んだ人が多かった。ここは②Oh, not again. という会話らしい短い応答を選ぶ問題だったが、本文にも慣用表現がいくつか含まれ、それらを理解できなければ状況がつかみにくかったのではなかろうか。もう1つは問10であるが、やりとりの内容はさらに単純である。こちらも選択肢が紛らわしいというよりも、本文が伝える状況がつかめていなかったようだ。短い文だからこそ、冒頭から集中してほしい。

第3問A 対話の聞き取り(質問に対する答えの選択)

落ち着いて必要な情報のみをつかもう！

今回の第3問Aの得点率は58.5%であった。小問ごとの正答率を見ると、特に不出来と言うほどではないが、40%台に終わったものが1つあった。これは問15で、対話はホテルの予約を巡る受付係

と申し込み客との電話でのやりとりである。「月曜日まで満室」のところを「その翌日」から予約したので、選択肢中「火曜日から…」を含む②が正解となる。ところが本文には「3泊4日」という情報も含まれるので、それに惑わされると紛らわしくなる可能性がある。落ち着いて必要な情報だけをつかむようにしたい。

第3問 B 長めの対話の聞き取り

読み上げ文の長さに対応できる力をつけよう！

第3問 B の得点率は70.1%で、今回のすべての大問中最高の成績であった。正答率の内訳は、50%台、70%台、80%台がそれぞれ1問ずつだった。バランス的にも問題のない結果と言えるだろう。ここでは素材文が一気に長くなるので、より高い集中力が要求され、本格的な力が試される。普段のトレーニングでどれだけ聞く力を鍛えたかが問われるだろう。間違えた箇所があれば、読み上げ文を参考にしながら、どこに原因があったかを各自で突き詰めてほしい。

第4問 A 長めの文章の聞き取り

本文の内容を総合的にとらえよう！

今回の第4問 A の得点率は52.0%であった。小問別の正答率を見ると、70%台と50%台が1問ずつある一方、30%に届かなかったものも1つあり、これが足を引っ張ってしまった。この問21では、解説にも書かれているように、第3段落第2文の「研究者がお互いに情報を素早く共有することができるようになるプログラムを書いた」という事実と、第3文に述べられた、その後の改良によるワールドワイドウェブの開発、という2つの内容を総合して②が正解となる。過半数の人が①を選んでしたが、本文と似たような語句を使っているので紛らわしかったのであろう。第4問ともなると、読み上げ文の長さだけでなく、設問の要求も厳しくなることを覚悟しておこう。

第4問 B 長めの会話の聞き取り

最後の難所にうまく対応できていた！

第4問 B の得点率は63.8%とよくできていた。小問別の正答率を見ても、50%台、60%台、70%台が1問ずつで、バランスがよく取れていた。会話形式で日常的な話題を取り上げているとは言え、こ

こで安定した成績を取めたのは高く評価できる。最後になって長い英文を聞き取らなければならないのは厳しい課題であるが、今後もトレーニングを続ける中で、問題形式に慣れると共に、ここ一番という時に求められる集中力を養ってほしい。

Ⅲ. 学習アドバイス

◆設問形式に則した対策をとろう！

今回は第3問について述べてみよう。第3問 A は短い対話に基づく内容一致問題である。今回の成績を見てもわかるように、短い英文だからと言って必ずしも容易なわけではない。設問によってはややこしいケースがある。やはり文脈全体、会話全体の流れをつかむことが最も肝心である。特に、親しい人物同士の日常的な会話の場合は、情報をわかりやすく伝える説明的な文とは異なり、大げさな感情表現や、ユーモア、誇張、皮肉などの要素が加わることも珍しくない。言葉の裏の意図や心理を読み取るようにしたい。今回の第3問 A についても、間違えた問題があれば、人物たちの意図や気持ちを適切に汲み取れたかどうかをチェックしてほしい。

これに対して第3問 B は対話形式を用いながらも、説明的な情報がポイントとなっている。まず、問題冊子の表やリストを見て、どのような項目が記載されているかを確認し、およその会話の内容を予想することが大切である。ここで使われる表やリストには数値を含む細かな情報（今回の場合は金額）が含まれる。かなり長い対話文である上に、数詞や序数の聞き取りは何にもまして重要なので、うまくメモを取るなどの工夫をしたい。数値の聞き取りは第1問でも大きなウェイトを占めるので、ぜひ日頃の学習に取り入れてみよう。